

## 令和元年度千葉大学環境健康フィールド科学センター履修証明プログラム

### 「多様な農福連携に貢献できる人材育成プログラム」

#### (初級コース)第1期生 募集要項

「多様な農福連携に貢献できる人材育成プログラム」は、「障害者支援」×「高齢者支援」×「都市農業」×「QOL 向上」をテーマに多様な農福連携プログラムを企画・運営するための知識・実践能力を持つ人材を育成することを目的として、千葉大学環境健康フィールド科学センターが実施する体系的な履修プログラムです。

令和元年度は初級のプログラム受講生（第1期生）を下記の要領で募集します。

#### 1. 目的

本プログラムは、現代社会に蔓延している「バーチャルな環境によるストレスや矛盾」を「植物のリアル」で解消する「多様な農福連携プログラム」を企画・運営できる人材を持続的に育成するシステムを構築する取組です。幼稚園から大学などの教育機関に加えて、企業全般、高齢者・障がい者支援施設といった広範囲の機関を対象とし、幼児から高齢者までの生活の質の改善に貢献できる多様なプログラムを企画構築・運営できる人材の育成を目的としています。初級コースはその活動に必要な基本的な知識や理論の習得を目指します。

#### 2. 応募資格

原則として以下の要件を満たすもの。

高等学校卒業以上の学歴を有し、福祉関連施設、医療機関、教育機関、農業生産法人などに勤務もしくは勤務経験がある、又は農福連携に関わる業務に意欲を有する方。

※多様なバックグラウンドを持つ方々を想定しておりますので、諸事情を勘案し、上記資格を満たさない場合でも受講を認める場合があります。事前に下記問合せ先にご連絡ください。

#### 3. 募集定員

10名程度

応募書類を選考の上、令和元年12月27日（金）までに選考結果を連絡します。

#### 4. 応募方法

##### (1) 応募書類

「令和元年度多様な農福連携プログラムに貢献できる人材育成プログラム」応募用紙

※応募書類は、千葉大学環境健康フィールド科学センターウェブサイトよりダウンロードすることができます。

URL : <http://www.fc.chiba-u.jp/>

##### (2) 応募期間

令和元年12月4日（水）～令和元年12月20日（金）（必着）

##### (3) 書類提出先

応募書類を同封の上、下記宛先に「千葉大学環境健康フィールド科学センター履修証明プログラム応募書類  
在中」と朱書きし、簡易書留にて郵送願います。

〒277-0882 柏市柏の葉 6-2-1

千葉大学環境健康フィールド科学センター（柏の葉地区事務課）総務係 宛

※応募にあたってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、本学において、履修生の管理業務、本プログラムに関する情報提供等、これらに付随する業務を行うためのみに使用します。また、取得した個人情報は適切に管理し、使用目的以外には使用しません。

## 5. 修了の要件

履修証明プログラムとして設定された 11 コース（計 60 時間）すべてにおいて、それぞれの修了要件を満たすこと。本プログラムを履修し全コースを修了した場合、千葉大学長名の履修証明書、環境健康フィールド科学センター長名の修了証を授与します。なお、単位の授与はありません。

※修了された方は、次年度以降、中級・上級コースの履修を推奨いたします。

## 6. 受講料及びその他費用について

(1) 受講料 60,000 円

※受講決定通知後、令和 2 年 1 月 31 日（金）までに振り込み願います。なお支払われた受講料は、返金いたしません。プログラムを途中で辞退された場合でも同様です。

(2) その他

本プログラムで実施する対面授業・施設見学・履修証明書授与式・成果報告会に参加する交通費・施設見学科・宿泊費等は自己負担となります。対面授業は、千葉大学柏の葉キャンパスで実施することを予定しています。

## 7. 今後の日程について

(1) 応募書類締切	令和元年 12 月 20 日（金）必着
(2) 選考結果通知（振り込み案内の送付を含む）	令和元年 12 月 27 日（金）
(3) 受講料の支払い（60,000 円）	令和 2 年 1 月 31 日（金）まで
(4) 対面授業期間 ※初日に開校式、最終日に閉校式を行います。	令和 2 年 1 月 11 日（土）～3 月 14 日（土）
(5) 施設見学	令和 2 年 1 月 11 日（土）～2 月 29 日（土）の間に実施します。
(6) 履修証明書授与	所定の手続きを経た後、郵送します。

## 8. 問い合わせ先

千葉大学環境健康フィールド科学センター（柏の葉地区事務課）総務係

〒277-0882 柏市柏の葉 6-2-1

TEL : 04-7137-8006 Mail : zao8006@office.chiba-u.jp

## 農福連携の講習の構成、シラバス

### ●多様な農福連携に貢献できる人材育成プログラム

#### (1) 構成

コース名等					
	コース名	分類	講義形態	時間	講義担当（ ）内は所属 学外講師の演習にはセンター教員がコーディネーター として参加
初級	○農福連携の仕組みと課題	福祉	講義 演習	3	須江淳起（タキイ種苗ティエス植物研究所）
	○障がい者福祉学	福祉	講義 演習	3	伊藤仁志他（スタートライン）
	○看護学・保健学	福祉	講義 演習	3	小坂橋恵美子他（淑徳大学）
	○ボランティア社会学	福祉	講義 演習	3	矢尾板俊平他（淑徳大学）
	○園芸福祉学	福祉	講義 演習	3	野田勝二（千葉大環境健康 FSC）
	○サイバネティクス基礎	人間工学	講義 演習	3	栗本育三郎（木更津高専・福祉工学会）
	○植物学基礎	植物	講義 演習	3	渡辺均他（千葉大環境健康 FSC）
	○栽培学基礎	植物	講義 演習	3	小原均他（千葉大環境健康 FSC）
	○植物セラピー学基礎	植物	講義 演習	3	池井晴美（千葉大環境健康 FSC）
	○経営・ビジネス基礎	経営	講義 演習	3	小林寛利（VEGIMO GROUP）
	○福連携関連施設現場見学（6-7カ所） 千葉大学栽培施設 障がい者支援施設 高齢者介護施設 農福連携事業所 等		見学 演習	30	高垣美智子・小原均・渡辺均・塚越寛他 （千葉大環境健康 FSC）

※講習初日に開校式、最終日に閉校式を実施します。

#### (2) コースの概要（各3時間）

農福連携の取り組みの現状と課題	
キーワード	農業と福祉の連携、栽培技術、安全性、経済性
概要	現状の農福連携の仕組み、取り組み事例を理解する 課題を学び、解決策の検討を行う。
開講日	1月11日午前
担当	須江淳起（タキイ種苗ティエス植物研究所）
分類	福祉
到達目標	農福連携事業での現状と課題を説明することができる。
構成	対面授業2時間、演習1時間
修了要件	対面授業、演習に参加すること
特記事項	

障がい者福祉学	
キーワード	障がいの定義 障がい者福祉の理念 障がい者福祉の体系
概要	障がい者の福祉と権利擁護の方法論を理解する 障がい者福祉に関わる法律について学ぶ 障がい者福祉の理念、原則、仕組みについて理解する
開講日	2月8日午前・午後
担当	伊藤仁志他（スタートライン）
分類	福祉
到達目標	障がい者福祉の仕組みと基本的な理解を身につける。
構成	対面授業 2 時間、演習 1 時間
修了要件	対面授業、演習に参加すること
特記事項	午前講義、午後見学予定

看護学・保健学	
キーワード	介護、看護、保健医療、疾病予防
概要	医療施設および福祉施設における看護と介護について理解する 健康の保持および増進，疾病の予防などの人の健康に関わる分野を総合的に学習する
開講日	3月7日午後
担当	小坂橋恵美子他（淑徳大学）
分類	福祉
到達目標	看護学・保健学に関わる基本的な理解を身につける。 農福連携事業での現状と課題を説明することができる。
構成	対面授業 2 時間、演習 1 時間
修了要件	対面授業、演習に参加すること
特記事項	

ボランティア社会学	
キーワード	社会福祉、地域連携、社会貢献
概要	ボランティアとは何か。また、その社会的な役割と意義、実例を挙げて理解する
開講日	2月1日午後
担当	矢尾板俊平他（淑徳大学）
分類	福祉
到達目標	ボランティアに関わる基本的な理解を身につける。 農福連携事業での現状と課題を説明することができる。
構成	対面授業 2 時間、演習 1 時間
修了要件	対面授業、演習に参加すること
特記事項	

園芸福祉学	
キーワード	病院緑化、園芸療法、セラピー
概要	園芸活動が人へ与える多様な影響や効果を解説するとともに、園芸活動を取り入れた福祉的活動の実例を紹介する
開講日	3月14日午後
担当	野田勝二（千葉大学環境健康 FSC）
分類	福祉
到達目標	園芸福祉の基本的な理解を身につける。 農福連携事業での現状と課題を説明することができる。
構成	対面授業 2 時間、演習 1 時間
修了要件	対面授業、演習に参加すること
特記事項	

サイバネティクス基礎	
キーワード	環境、コミュニケーション、情報、計算機
概要	環境、動物、植物、人、コミュニケーション、情報、計算機、制御機械について統合的に理解を深める。
開講日	2月15日午後
担当	栗本育三郎（木更津高専・福祉工学会）
分類	人間工学
到達目標	人間工学の基本的な理解を身につける。 農福連携事業での現状と課題を説明することができる。
構成	対面授業 2 時間、演習 1 時間
修了要件	対面授業、演習に参加すること
特記事項	

植物学	
キーワード	分類、構造、成長、効果
概要	植物学的な側面から、植物の基本的な名称や構造を理解する 植物の機能性の基礎を学ぶ
開講日	2月1日午前
担当	渡辺均（千葉大学環境健康 FSC）
分類	植物
到達目標	植物に関わる基本的な理解を身につける。 植物の機能性の現状と課題を説明することができる。
構成	対面授業 2 時間、演習 1 時間
修了要件	対面授業、演習に参加すること
特記事項	

栽培学	
キーワード	播種、管理作業、施肥
概要	植物栽培の基礎を理解する 栽培作業の基礎を学ぶ
開講日	2月15日午前
担当	小原均・塚越寛（千葉大学環境健康 FSC）
分類	植物
到達目標	作物栽培に関わる基本的な理解を身につける。 農福連携事業での現状と課題を説明することができる。
構成	対面授業 2 時間、演習 1 時間
修了要件	対面授業、演習に参加すること
特記事項	

植物セラピー学	
キーワード	リラックス効果、生理指標、快適性評価
概要	植物セラピーの基礎を理解する 生理的快適性評価手法の基礎を学ぶ
開講日	3月14日午前
担当	池井晴美（千葉大学環境健康 FSC）
分類	植物
到達目標	植物セラピーに関わる基本的な理解を身につける。
構成	対面授業 2 時間、演習（デモ実験） 1 時間
修了要件	対面授業、演習に参加すること
特記事項	

経営・ビジネス基礎	
キーワード	簿記、経営分析
概要	農業経営および介護施設の経営について理解する
開講日	3月7日午前
担当	小林寛利（VEGIMO GROUP）
分類	経営
到達目標	経営・ビジネスに関わる基本的な理解を身につける。 農福連携事業での現状と課題を説明することができる。
構成	対面授業 2 時間、演習 1 時間
修了要件	対面授業、演習に参加すること
特記事項	

現場見学	
キーワード	福祉施設、農場、
概要	様々な形の農福連携に関連する現場を見学し、取り組みの工夫、課題、将来展望などを理解する。
開講日	1月18日、25日、2月22日、29日
担当	高垣美智子・小原均・渡辺均・塚越寛 他（千葉大環境健康 FSC）
分類	見学・演習
到達目標	農福連携事業の現状と課題を理解することができる。 事業の改善を提案できる。
構成	6～7か所の見学（一部研修含む）
修了要件	見学、意見交換会に参加し、レポートを提出すること
特記事項	交通費は実費負担となります。

### （3）開講日日程表

土曜日開講 10日間 1日6時間（9:00～12:00、13:00～16:00）

月日	午前（9:00-12:00）	午後（13:00-16:00）	備考
1月11日	農福連携の仕組みと課題 須江淳起（タキイ種苗ティエス植物研究所）	センター圃場見学・説明 小原均他（千葉大学）	開校式
1月18日	見学・演習		マイクロバス利用予定
1月25日	見学・演習		マイクロバス利用予定
2月1日	植物学基礎 渡辺均 他	ボランティア社会学 矢尾板俊平 他（淑徳大学）	
2月8日	障がい者福祉学 伊藤仁志他（スタートライン）	スタートライン見学関連施設見学	マイクロバス利用予定
2月15日	栽培学基礎 小原均他	サイバネティクス基礎 栗本育三郎（木更津高専）	
2月22日	見学・演習		マイクロバス利用予定
2月29日	見学・演習		マイクロバス利用予定
3月7日	経営・ビジネス基礎 小林寛利(VEGIMO GROUP)	看護学・福祉学 小坂橋恵美子他（淑徳大学）	
3月14日	植物セラピー学 池井晴美（千葉大）	園芸福祉学 野田勝二（千葉大）	閉校式